

聖徳太子

3年A組

南出 英亮

聖徳太子の功績

十七又木の憲法
冠位十二階

の特色!!

聖徳太子

は様々な功績をのこしておられますが、代表的なものは、

冠位十二階

大徳	小徳	大仁	小仁	大禮	小禮
大信	小信	大善	小善	大智	小智

信・善・和の大小に分けて、それぞれ紫・青・赤・黄・白・黒の濃淡で表し、色の濃い方が位が高いです。冠位十二階を制定したこと、幣制がなくなり、天皇の在り方はたらく役人が増えました。また、色を十二色に分けたことで、ひとめで地味を分かりやくなりました。

飛鳥時代と法隆寺と仏教文化

(聖徳太子蘇我氏)

6世紀の末に中国では隋が南北朝を統一、帝国を造り上げました。隋が南北朝を統一、帝国を造り上げました。隋が南北朝を統一、帝国を造り上げました。

聖徳太子と蘇我氏は、仏教を弘めようとして大王のいる飛鳥地方を中心にして、日本で最初の仏教文化が栄えました。これを、飛鳥文化といひ、法隆寺の釈迦三尊像などの仏像が主なものになつていきました。聖徳太子は日本に仏教を広めたか、たまたま六〇七年に法隆寺を建てました。六七六年に火災で一度法隆寺は燃えましたが、七世紀後半頃に再建されました。現在も何回も修理工事等は行つていいますが、六〇七年の建て

当時の姿が今も残っています。法隆寺は世界最古の木造建築物になっていて、内容は五重塔・金堂・中門・回廊の四つです。どれも世界最古のものなのに、もかかわらず、どれも素晴らしい木造建築物です。聖徳太子、蘇我氏などの協力があつて、日本に仏教がとんとん広まりました。その結果、飛鳥時代、平安時代と仏教文化が根強く育ちました。法隆寺の影響が大きかったです。

聖徳太子の尊

耳がとて良かたと言われている!

これにも諸一つ目は、別名で聖徳太子は呼ばれたいて、同時に聞きとされてい目は、平安時代の「聖徳太子伝説」に聞きました。これらから、やはり聖徳太子は偉人だと思ひます。

聖徳太子は昔おねいになつているすこい人!! 500 7000

耳政としてサポート

聖徳太子・推古天皇

遣隋使の派遣

菅原道真の再考を求めた。学問の神権といわ

その結果、日本と隋との国交が無事結ばれることになった。六〇八年と六〇四年にも遣隋使を派遣したが、六〇八年に隋は唐にはるぼされてしまった。これを受け、日本は朝廷で、大陸の進んだ技術や知識を取り入れるために、遣隋使を派遣した。仏教の日本への伝播に大いに貢献した遣隋使は、唐の衰退、渡海の危険性を管原道真に再考され、廃止されました。

聖徳太子が行ったこと

1. 十七又木の憲法
 2. 冠位十二階
 3. 遣隋使の派遣 (小野妹子)
 4. 法隆寺建築 (仏教文化)
 5. 聖徳太子・推古天皇
- たくさ人の功績を残す!